

梅雨の晴れ間の青空が眩しく感じられる今日この頃。皆様には日頃よりご支援をいただき、厚く感謝申し上げます。

4月より、地域医療連携室では看護師1名が異動となり、新しいスタートを切りました。今年度も地域の医療機関や介護施設、ケアマネジャー等の皆様方に協力をいただきながら、ご病気を抱えた患者様やご家族の想いに寄り添った支援を実践して参ります。

今年度もどうぞ宜しくお願い致します。

今年度の研修会予定

- 6月 7日 (終了) 「地域包括ケアシステムってなんだろう」院内職員対象
- 7月26日 (金) 「ケアマネジャーの役割・業務」院内職員対象
- 9月27日 (金) 「退院調整グループワーク」関係機関及び院内職員対象
- 11月29日 (金) 「認知症患者の理解」院内職員対象

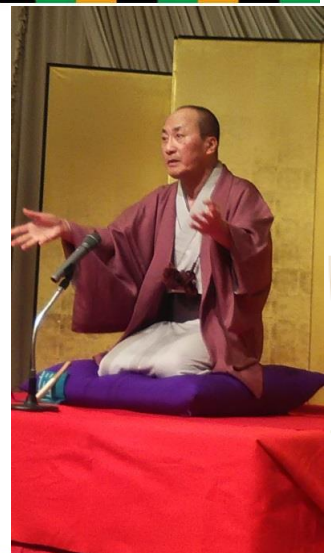
※日程は変更になる場合があります。

第12回がん市民講座を開催しました

2月16日(土)、がん当事者で落語家の樋口強氏を講師にお招きし、「いのちの落語講演～笑いは最高の抗がん剤～」と題した講演会を行いました。

樋口氏は講演と落語をセットにした独特の講演会を全国で開催し、多くのメディアにも取り上げられている方です。当日は70名の市民の方にご来場いただきました。

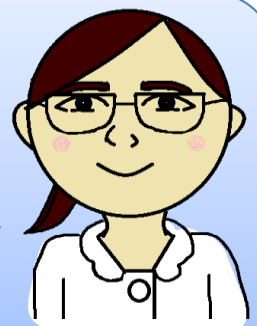
がん治療中の方や御家族も多く、「頑張っている姿に勇気づけられた」「周囲の人と笑い合える何気ない日常を大切にしていきたい」といった感想が多く聞かれました。



新メンバーを紹介します！

看護師 亀卦川 葉 (きけがわ よう)

4月より地域医療連携室に配属となりました亀卦川です。一日でも早く業務を覚え、患者さんが安心して退院できるよう、皆さんと連携を図り支援していきたいと思っています。よろしくお願ひいたします。

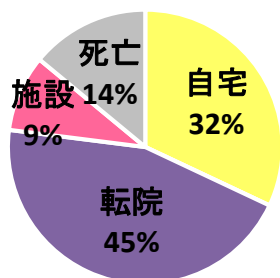


退院支援活動報告

平成29年度

退院支援患者退院先

退院先別平均支援日数

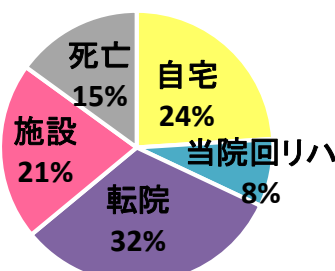


自宅	22.7日
転院	25.7日
回復期	23.5日
療養他	26.7日
施設	37.7日
死亡	38.1日

平成30年度

退院支援患者退院先

退院先別平均支援日数



自宅	20.1日
転院	24.8日
回復期	20.7日
療養他	27.9日
施設	36日
死亡	29.7日

平成29年度と平成30年度を比較しての報告をさせていただきます。

退院先についてですが、自宅退院割合は8%減少。転院につきましては当院の回復期へ転棟された方も合わせますと、前年度に比べ5%減少。施設は9%から21%へと大きく増加しております。独居や高齢者世帯の増加など、自宅への退院が難しくなっている状況が見て取れます。

次に平均支援日数ですが、全体的に短縮しています。

この理由として、医師からの病状説明の際に地連スタッフも同席させていただくケースが増え、関係者が一堂に会す場面が設けられるようになった事により、介入当初から病状に合わせた適切な退院調整が行えるようになった事があげられます。また、関係機関の皆様より、空床情報など施設情報を随時いただくことで、スムーズな転院・施設入所へ繋がられていることも理由の一つだと考えられます。

その一方で、現在のところ当地域には無い、透析を行ないながら長期入院が可能な病院への転院や、緩和ケア病棟のある病院への転院調整が増えて来ております。さらに、身寄りの無い患者様も年々増加傾向にあり、支援に大変苦慮しております。今後も皆様のご協力をいただきながら支援を進めて参りたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願いたします。

～お知らせ～

○医療系サービス利用者のケアプラン提出について

昨年度の介護報酬改定により、医療系サービス導入にあたり意見を求めた主治医等に対してケアプランを交付する事が義務付けられました。当院の医師へ交付いただく際、各科外来ブロック受付へ持参いただくか、市内の居宅介護支援事業所につきましては、宮城県ケアマネジャー協会気仙沼支部で作成した書式の封筒を使用し、担当医宛てに送付いただくようお願いいたします。また、市外の事業所からいただく際は、封筒に「ケアプラン在中」と朱書きの上、担当医宛てに送付いただきますようお願い致します。

○眼科外来について

原則的に完全予約制となりました。新患の方は、医療機関より診療予約申込書と診療情報提供書を地域医療連携室へファックスでお送りいただき、予約をお取り致します。急患につきましては外来へご相談下さいますようお願い致します。